



発掘

そのⅡ

発掘で証明された長岡京

長岡京市立中山修一記念館主催
長岡京発見70周年記念事業

座談会：長岡京解明への発掘とその報道

中山修一とその教え子^{そでおかまさきよ}袖岡正清が、1955年正月2日に”
長岡京朝堂院”の中門の”^{じふくいしぐん}地覆石群”を発見してから70年
の歳月が経ちました。長岡京は一躍その存在を全国的に認
められるようになりましたが、世は戦後復興の真っ只中に在
り、遺跡の調査と保存は非常に厳しい状況にありました。
今回はこの地で長く発掘及びその広報に従事してきた方々
を囲んで、**聴講者参加**での「発掘の思い出座談会」を開催
したいと思います。我々の足下に眠る 1240 年前の「都」へ
の想いを語り合いましょう。

長岡京発掘の語り部

古鉄勝美 氏 元京都新聞編集局長

戸原和人 氏 元京都府埋蔵文化財センター職員

中尾秀正 氏 元長岡京市教育委員会生涯学習課課長

司会 中山忠彦 中山修一記念館館長

日時 令和7年2月8日(土) 13時30分～16時00分

入場無料 先着25名 申込不要

場所 長岡京市立 中山修一記念館 075-957-7176

阪急西山天王山駅徒歩 15 分 阪急久貝バス停徒歩 3 分